



5/28-29
AUTO PARADISE
GOTENBA



6/18-19
FESTIKA CIRCUIT
MIZUNAMI



7/23-24
KOBE
SPORTS CIRCUIT



8/27-28
NAKAYAMA
KART WAY



10/22-23
SUZUKA
CIRCUIT



新たなプロジェクト YAMAHA Racing Jrがスタート!

2016年 全日本カート選手権 FS-125 西地域 第1戦

■開催日: 4月16~17日 ■開催場所: 滋賀県・琵琶湖スポーツランド ■天候: 雨~晴れ ■路面状況: ウェット~ドライ ■参加台数: 24台

全日本カート選手権、西地域の開幕戦は、前年と同じく琵琶湖スポーツランドで開催。前日までは好天に恵まれたが、夜から降り出した雨で決勝当日の朝はウェットコンディションとなった。さらに、午後からは一転、雲一つない快晴となり、去年に引き続き路面状況が刻々と変化し、ドライバーの対応力が問われる難しいレースとなった。

24台がエントリーしたFS125クラスは、約半分がルーキー。ジュニア選手権からステップアップした酒井にとっても、ハイグリップのレインタイヤでは初めての走行となった。薄日が差す中でのタイムトライアル。走行ライン上は周回を重ねるごとに乾き、タイムが伸びてくる。微妙な路面状況で経験者が上位につける中、酒井は6周目で46秒581をマーク。ルーキーとしては2番手となる、6位のタイムを叩き出した。



YAMAHA Racing Jr

ヤマハレーシングのジュニアチームとして全日本カート選手権 FS-125部門の選手サポートを行うことにしました。本年は同西地域に参戦する酒井夢良選手のサポートを行います。

尚、当プロジェクトは、サポートするチームは固定せず選手に対するサポートとし、毎年ヤマハが支援する選手を選考します。

▶ 監督	高橋 和則
▶ アドバイザー	北條 裕
▶ ドライバー	酒井 夢良



第1戦 タイムトライアル：6位 予選：21位 決勝：23位

予選ヒート (16周)

ドライコンディションとなった予選ヒートは、全車が新品のスリックタイヤを装着してスタート。オープニングラップ、酒井は熱の入りきらないタイヤで飛び込んだ2コーナーで接触してしまう。再スタートはしたものの戦列からは大きく遅れ、2周で予選を終了した。

決勝ヒート (26周)

日差しが照りつけ、路面温度も予選時より大きく上昇した決勝。21番手スタートの酒井は、予選で2周しか使用していないタイヤの高いグリップ力を活かし、スタート直後から果敢に攻める。しかし、4コーナーでインを突いた瞬間、前車も同時にインサイドへ。酒井のマシンが乗り上げ、フレームにダメージを負ってしまう。その後、酒井は再スタートを切り懸命に走るも、追い上げかなわずデビュー戦を終えた。

2016年 全日本カート選手権 FS-125 西地域 第1戦 リザルト (24台)

Pos.	No.	Driver	Team	Lap
1	20	井本 大雅	TAKAGI PLANNING	26
2	24	塩津 佑介	KENT with PEGTOP	26
3	3	三澤 拓真	Energy JAPAN	26
23	13	酒井 夢良	YAMAHA Racing Jr	24

高橋 和則 監督

酒井選手はジュニア選手権を2年経験し、地方選には出ずにステップアップしたのですが、これは以前から選手育成のために計画していたことで、そのために去年から同エンジンの他のシリーズに出場してトレーニングを重ねて来ました。ただ、全日本のハイグリップタイヤというのはすぐに乗れるものではなく、習熟が必要です。

今回は頑張りすぎて空回りした、という感じ。緊張がとれずプレッシャーに負けました。ただ、彼は完成されていない、これからのドライバー。体力、スキル共にまだ足りませんが、高い可能性は持っていると思います。今後は、大学教授を招いて、カートの動きについての専門的な講習も行う予定です。

73 酒井 夢良 / Yura SAKAI

AGE:14



全日本は初参戦ですが、X30のマシンは他のレースで経験し準備をしてきました。でも、ハイグリップタイヤでの、ヒートごとに変化する路面状況に、その場で合わせるという作業は初めてで戸惑いました。

タイムトライアルは気を楽しんでいきましたが、6番手スタートになったことで、プレッシャーからだんだん心が重たくなってきて、予選も決勝も思うように走れませんでした。落ち着いていればもう少し良いレースができたと思うのですが、心の弱さからミスが出てしまいました。セッティングの理解にも悩みました。

今後は、マシンのことをしっかり知って、きちんとレースの組み立てができるよう、家でも復習したいです。

今年はもちろんチャンピオンを獲りたいですが、それ以前に、とにかく全力で走りたいと思っています。